

事業活動報告書

君津ソーシャルイノベーションプラットホーム事務局 宛

企業・団体名 ソニーコンピュータサイエンス研究所 保育テックチーム  
 代表者 大和田 茂

令和5年2月21日付けで君津市官民連携事業採択委員会にて採択のあったこのことについて、下記のとおり事業の進捗状況を報告いたします。

記

<p>活動内容 (日時、場所、 内容等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上湯江保育園にて実証実験についての説明及び現地視察を実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日時：2023年6月8日（木）</li> <li>- 場所：上湯江保育園 職員室</li> <li>- 内容：上湯江保育園の先生、君津市 保育課及び政策推進課の職員の方々に向けて保育カメラを用いた実証実験についての説明を行った。 背景、課題、目的、期待される成果についての説明を行い、参加者からの質問や懸念事項にも対応した。</li> </ul> </li>   <li>● 先生との実験相談                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日時：2023年6月28日（水）</li> <li>- 場所：上湯江保育園 職員室</li> <li>- 内容：実際に実験を行う先生と、実験のシステム操作方法や撮影場所についての相談を行った。先生の要望や提案を考慮しつつ、実験日時を決定した。</li> </ul> </li>   <li>● 保育カメラを用いた実証実験の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日時：2023年7月5日（木）</li> <li>- 場所：上湯江保育園 くま組、ぞう組</li> <li>- 内容：9:30 から1時間ほど保育カメラを使って撮影を行った。撮影後からワークショップまでに行って頂きたい作業について先生に説明を行った。</li> </ul> </li>   <li>● 保育主任とワークショップで扱う動画についての選定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日時：2023年7月18日（火）</li> <li>- 場所：電話</li> </ul> </li> </ul>
----------------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 内容:保育主任の先生とワークショップで取り扱う場面についての相談を行った。取り扱う場面の候補については実際に実験を行った担任の先生に事前に付箋を入れて頂いた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育の振り返りワークショップ実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日時: 2023年7月20日(木)</li> <li>- 場所: 上湯江保育園 大教室</li> <li>- 内容: 7月5日に撮影した映像を用いて、園の先生を対象とした振り返りワークショップを実施した。映像を通じて保育の振り返りを行い、良かった点や改善点について話し合いを実施した。ワークショップには弊社プロジェクトメンバーと園の先生が5名、君津市保育課の方が1名参加した。</li> </ul> </li> </ul>
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな市場展開の可能性の発見 社内関係者へ今回の取り組みを紹介した際に、子どもの動画に加えて先生のコメントがあると保護者としては感動するといったコメントがあった。保育園での利用を想定はしているが、保護者向けや家庭向けへの応用展開の可能性があると判明した。ユーザーの関心や需要の変化を踏まえ、市場展開戦略を再評価し、新たな市場への進出を模索していく予定です。</li> <li>● 新規 Viewer の活用 新たに導入した Viewer が、既存のコミュニケーションツールである Slack よりも効果的に活用された。映像を振り返るという点においては効率的に利用できるようになった。特に実際に保育中には気付かなかった点を発見できること、行動の前後を含めて振り返りが簡易にできる点が好評だった。</li> <li>● AI による映像分析の有効性の確認 実験によって得られた映像データを用いた AI による映像分析が、一定の成功を収めた。振り返る点を見つけることが容易になることが確認された。</li> <li>● メタバースへの展開の道筋 実験関連の議論の中で、将来の展望としてメタバースへの展開が議論された。既にいくつかのアイデアが提示され、弊社チームが持つ技術やコンセプトを活用してメタバースの実現に向けたステップを進めていく計画です。</li> </ul>

<p>今後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Viewer の更なる活用拡大と AI 映像分析の進化 新規導入した Viewer が既存ツールよりも有用であることが確認された。今後は、Viewer の機能拡張や使い勝手の向上に注力し、さらなる利用価値を提供します。 AI による映像分析の有効性も確認され、今後は、AI モデルの精度向上や新たな応用領域の探求を進めることで、映像から得られる価値を最大化します。リアルタイムの問題検出や予測に向けた研究と開発を推進し、保育の質向上に貢献します。</li>   <li>● メタバース展開の具体化 メタバースへの展開についての議論が行われた。新規園での備品の配置や、保育園留学のための園紹介、廃園となる園のアーカイブなどの具体案について詳細な検討を進めていき、保育×メタバース市場での存在感を高めていく予定です。</li> </ul>
<p>市に協力してほしいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回の実証実験結果をもとに園職員や保育課職員、政策推進課等の関係者様との改善点の意見交換を実施させて頂きたい。</li> <li>● 2 回目の保育カメラを使った実証実験の実施のため保育園との調整。</li> <li>● メタバース展開に向けた具体化についての相談を実施させて頂きたい。</li> </ul>
<p>連携継続</p>	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続する         <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 終了する</span> </p>
<p>備考</p>	